

マイタケの ストレスによる皮膚機能低下改善効果

皮膚はストレスの影響を受けやすく、肌荒れやアトピー性皮膚炎の悪化など皮膚障害が起こることが知られています。

● マウスを用いた皮膚機能改善効果実験 ●

マウスは過密状態で飼育することによってストレスを受けます。

そこでヘアレスマウス(6週齢、♀)を

- ① 通常飼育群 : 通常飼育、通常飼料
 - ② 対 照 群 : 過密飼育、通常飼料
 - ③ マイタケ群 : 過密飼育、5%マイタケ粉末を含む通常飼料
- の3群に分けて1週間飼育しました。

通常飼育の様子



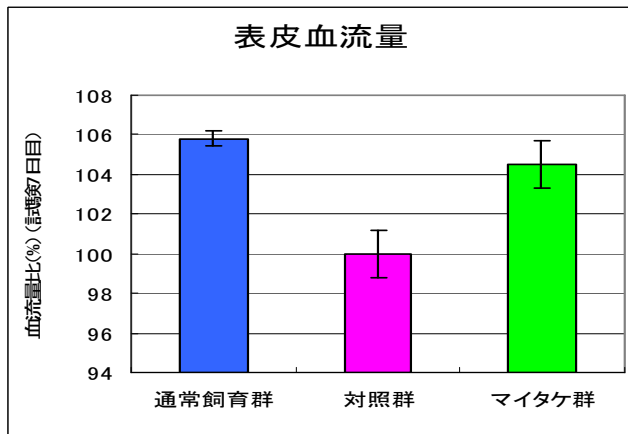
過密飼育の様子



ストレスがかかると皮膚機能が悪くなります。

皮膚機能をはかる指標として「表皮血流量」と「皮膚バリアー回復能」を測定し、比較しました。

◎表皮血流量

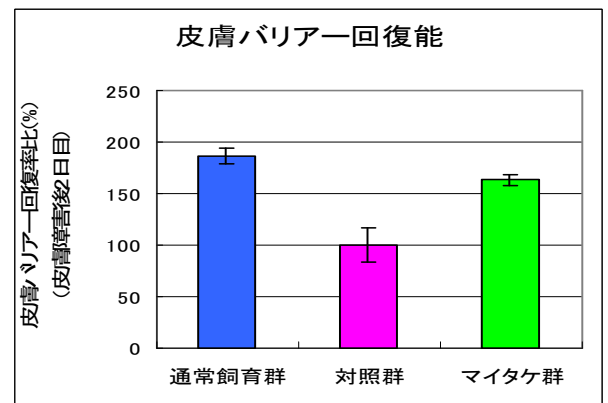


ストレスをかけた対照群は通常飼育群に比べて有意に表皮血流量の低下が見られました。これに対して、マイタケを含む飼料を与えたマイタケ群は過密ストレスによる表皮血流量低下を有意に抑制しました。

ストレスをかけた対照群は通常飼育群に比べて有意な皮膚バリアー回復能の低下が見られました。これに対して、マイタケを含む飼料を与えたマイタケ群は過密ストレスによる低下を有意に抑制しました。



◎皮膚バリアー回復能



マイタケを食べることで、ストレスによる皮膚機能の低下を予防することができ、肌荒れ、アトピー性皮膚炎など皮膚障害の改善効果や、美容促進効果が期待されます。